

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和2年4月27日（月）～5月3日（日）〔第18週〕及び5月4日（月）～5月10日（日）〔第19週〕の感染症発生状況

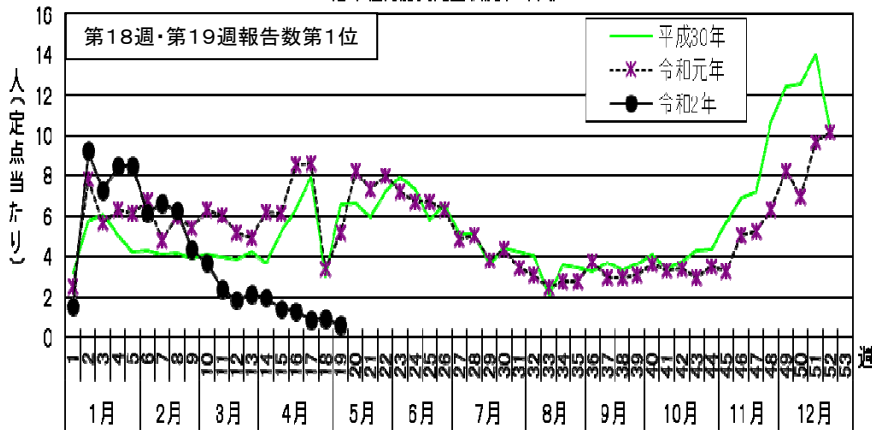
第18週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 3) 突発性発しんでした。

第19週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) 流行性角結膜炎 3) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎でした。

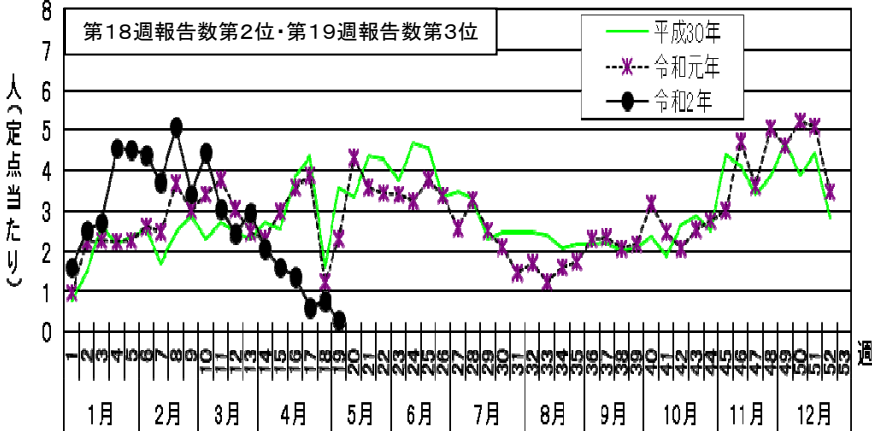
第19週はゴールデンウィークで、多くの医療機関が休診であったため、ほとんどの疾患で報告数が減少しています。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎発生状況(3年間)



気を緩めずに！！新型コロナウイルス感染症対策

川崎市における新型コロナウイルス感染症の報告数（疑似症患者は除く。）は、令和2年第15週（4月6日～4月12日）に70件となりピークを迎えましたが、その後徐々に減少し、第18週（4月27日～5月3日）は25件、第19週（5月4日～5月10日）は2件となりました。そのうち第18週は17件、第19週は1件が院内感染関連事例であり、原因不明の市内発生事例は大幅に減少しています。

再び患者数が増加することがないように、引き続き手洗いなどの感染予防対策を徹底するとともに、人との不要な接触機会を減らしましょう。

新型コロナウイルス感染症の相談・受診の目安が変更されました

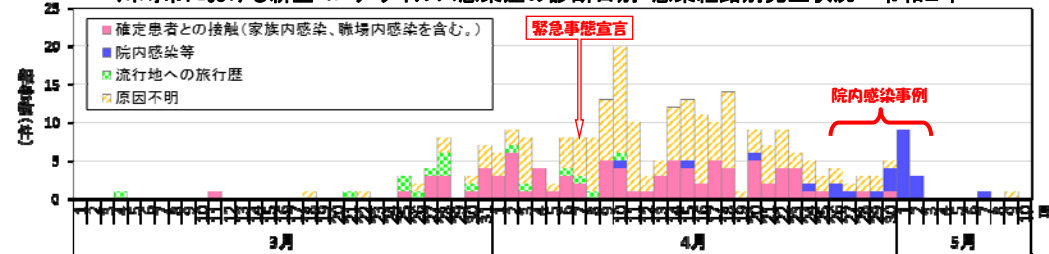
令和2年5月8日から帰国者・接触者相談センター等への相談及び受診の目安が変更されました。

御相談いただく目安

- 少なくとも以下のいずれかに該当する場合には、すぐに御相談ください。（これらに該当しない場合の相談も可能）
- ✓ 息苦しさ（呼吸困難）、強いだるさ（倦怠感）、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
- ✓ 重症化しやすい方*で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状がある場合
*高齢者、糖尿病、心不全、呼吸器疾患などの基礎疾患がある方、透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤などを用いている方
- ✓ 上記以外の方で発熱や咳など比較的軽い風邪症状が続く場合（症状が4日以上続く場合は必ず御相談ください。）

妊婦の方についても、重症化しやすい方と同様に、症状がみられた場合は、早めに帰国者・接触者相談センター等に御相談ください。

川崎市における新型コロナウイルス感染症の診断日別・感染経路別発生状況ー令和2年ー



※市内医療機関からの報告数 ※クルーズ船関連及び疑似症患者を除く。